

大ニ日本

シネスコ版

高新=22/No.399

新音傍=22/No.227

No.564

39.11.-6

一、菊かおる

十一月三日は文化の日。さわやかな秋晴れに明治神宮では、秋の例大祭が行なわれ大勢の参拝者でにぎわいました。

一方皇居では、天皇陛下が御出席なされ、茅氏ら五氏への文化勲章伝達式が行われました。式後、勲章を胸に受賞者たちは晴ればれとした表情で記念撮影です。

一、週間話題

○自衛隊記念日

一日は「自衛隊記念日」明治神宮外苑では自衛隊員や車両等の観閲行進。この観閲式には外国人や一般市民も多数つめかけ、国産の戦車をはじめ珍しい装備に目を見張っていました。

○浩宮さまオイモ掘り

浩宮さまら学習院幼稚園の園児たちは三十日東京小平市の恵泉女学園短大に出かけ、空気のおいしい郊外で楽しいオイモ掘り——美智子さまも一緒に秋の半日をのびのびと過ごされました。

○日本グランプリ・レース

世界選手権をかけた第二回日本グランプリ・ロードレースは一日、三重県の鈴鹿サーキットで行われました。一年に一度のレースとあって十二万の観衆が詰めかけスピードとスリルを楽しんでいました。

一、後継総裁はお話し合いで

オリビックが済んだばかりの十月二十五日、前首相の乳頭腫で、東京築地ガン・センターに入院療養中の池田首相が激動する国際情勢に鑑みこれ以上の院政は出来ない」と辞意を表明、俄かに自民党内は「後継総裁」選考をめぐる動きが活発になりました。各派閥の渦巻く自民党内のこと、党幹部の川島副総裁、三木幹事長は早速佐藤、河野、藤山の三候補を中心に円満かつ迅速な話し合いで後継総裁選考に乗り出しました。

各候補との個別会談を手始めに党内の意見調整に東奔西走。各候補の思惑に泣かされながら、吉田長老の意見を伺うなど党内調整に大奮です。難産の総裁決定劇は毎度のこととはいえ、臨時国会の開会を来る十一月九日と決定した以上「挙党体制」で「池田路線継承者」を産み出さなければならぬのです。

この複雑な党内事情はどうあれ、「高度経済成長」がもたらした大きな「ヒズミ」是正など数多くの問題を解決出来る国民のための後継総裁——首相を無事産み出して欲しいのが国民です。

623F

235

295

93

製作
配給

中部日本新聞
北陸中日新聞

東京中日新聞
中日映画社
中部日本映画社